

科学研究費補助金（特別推進研究）研究進捗評価結果

課題番号	19002012	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	軸索末端に分子コード化される神経個性		
研究代表者名 (所属・職)	坂野 仁（東京大学・大学院理学系研究科・教授）		

【平成22年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
○	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(評価意見)		
<p>本研究では、当初目的である単一嗅細胞単一受容体原理の分子メカニズムに関して、重要な発見がなされた。また、二次投射における匂い情報 editing 機構の解明という目標に対しても、ノックアウトマウスを用いた明快な研究成果を挙げ、いずれの研究成果も初年度に報告された。</p> <p>本研究グループは次年度以降、さらに研究を発展させ、嗅神経軸索投射 topography が軸索レベルで決定されること、Nrp1 と Sema3A がこの決定に相反的に関わることを見出した。これら一連の研究成果は、脳内神経回路形成の原理とメカニズムに新たな洞察を加えるものとして、当初目的を超える研究成果であるといえ、高く評価できる。</p>		